第 267 回　日本経営倫理学会・理念哲学研究部会　例会の議事録

部会長　村山元理

日時　2022 年 3 月 28 日（月）18：00～20：00
参加者：　7 名

発表者
西村晋：新著『中国共産党　世界最強の組織　1 億党員の入党・教育から活動まで』（星海社新書）4 月 27 日刊行について
・日本では中国共産党について、トップ 0.1%の政治権力についてのみ知られているが、現実には最下部の党支部（3 名から 40、49 名）に 9800 万人いる。党支部は大学、村、町内、企業の各部署などにあり、自治的な単位であり、党規約によって、あらゆる年代向けに勉強会、公共性の学び、コミュニケーションの場として機能している。理念・思想はトップダウンで絶対的であるが、ボトムアップ的に住民の問題や不満が上に吸い上げられる仕組みがあり、政策変更にも寄与している。党支部の主任は選挙で選ばれる。企業や行政組織のトップの 86-90%は同時に党員である。党支部の上に中間組織的な委員会や支部があり、省・地区・県などの単位のもとに統括されている。
・国営企業には 80 年代には党組織があり、民営企業でも株主総会、取締役以外に同時に党組織がある。
・コネが無いと共産党員になれないのでは：大学では 15 人のうち 10 人が党員となれて、決してコネによる選抜だけではない。
・外資系企業でもウォルマート、サムスンには当初なかった、今では党支部がある。アリババのジャック・マーが貸し出しもできるアリペイを広げるために金融政策の BIS 規定に反対したため、その発言が抑えられた。
・本が売れだすと、その内容により禁じられることがある。
古山英二：「カント哲学」の紹介：添付資料にもとづいて、Norman Bowie との出会いから、アメリカでカントの道徳哲学であるカテゴリー規範としての一般性原理、人間性原理が広く理解されていること、カントの故郷がソ連の一部になっていて、カリングラードに訪問したことを解説。理性の立場から、神にふれず道徳形而上学を構築した。

今後の予定　（毎月第 4 月曜日）
令和 4 年
４月 25 日（月）18：00～20：00　部会員による今年度の研究目標の発表。
　　全員、A4 で 1 枚程度で発表をお願いします。
５月 23 日（月）18：00～20：00
６月 27 日（月）18：00～20：00